

復活—キリストとの新しい出会い

ヨハネの福音書20章11-18節
2013,3,31 HKJCF

概観

序)私たちの人生はキリストとの出会いで決まる マグダラのマリヤと復活の主との出会いはどんなものだったのだろうか？

- 1、イエス様の遺体を捜すマリヤ 11-13
- 2、キリストとの新しい出会い 14-18
- 3、適用

I イエス様の遺体を捜すマリヤ

- 1、空の墓: 終点か? 出発か?
 - 2、マリヤの判断: 人間の常識の範囲
 - 3、思い出に生きる: 遺体とともに過去と情の世界にとどまる その先は殉死?
- ⇒マリヤの判断は過去の学び・体験・恵み・常識・情に制限されていた

II キリストとの新しい出会い(1)

- 1、うしろを振り向くマリヤ:14
 - 2、立っておられるキリスト:14,19,26,21:4
 - 3、気付かないマリヤ:14-15,ルカ24:13-18
 - 4、遺体を捜しているマリヤ:1-2,11,15
 - 5、主の問いを聴くマリヤ:15
- ⇒あまりにも強いマリヤの情と思い込み(2:4) 見ることも信仰に結びつかず(20:13⇔28)

III キリストとの新しい出会い(2)

- 6、マリヤの思いの強さ(私が):15
 - 7、マリヤの名を呼ばれる主:16
 - 8、み声を聴き、振り返るマリヤ:16⇔14
 - 9、依存(偶像信仰・情)から信頼へ:17
 - 10、マリヤへの主の召命:17
 - 11、復活の証人となるマリヤ:18
 - 12、み言の取り次ぎ手となるマリヤ:18
- ⇒今も、復活の主が立っておられる

IV キリストとの新しい出会い(3)

マリヤの出会いと成長

悪霊つきの女→解放①(悪霊)→主の弟子→十字架→挫折・常識・情→復活の主との出会い→主との新しい関係→解放②(依存)→復活信仰→新しい使命と人生

V 適用

マリヤを新生させた復活の主から新しい使命と人生を受け取ろう